

好き嫌いを言う前に

西日本新聞那覇支局長

中 西 昌 人



好きからいえば、小さな道に
も点在するパーゴー。晴れた日、
道ばたでバーガーをパクついて
いると、何ともんびりしてき
て心地よい。

逆に夜の松山は苦手。若い客
引きたちにとって、こちらはま
るで「歩く財布」のよう。博多
よりもひどいかも。一方、桜坂
や泉崎界隈は、昔話や世間話が
楽しめる上に懐もさほど痛まない。
慶良間や先島のサンゴの海は
本当に素晴らしい。さっそく水
中メガネを買った。海に魅せら
れて、早くも入館者が百万人を
超えた「沖縄美ら海水族館」も
お気に入りの施設の一つだ。

ところが、那覇市内を流れる
川はどうだろう。雨後のやんば
るの川も真っ赤に染まる。本島
の西海岸には自然のままの海岸は、
もうほとんど残っていないとも
聞いた。

好きからいえば、小さな道に
も点在するパーゴー。晴れた日、
道ばたでバーガーをパクついて
いると、何ともんびりしてき
て心地よい。

福岡市から那覇市に越してき
て三月で一年。当初、ウチナー
の人たちから何度も脅しのよう
に聞かされた言葉がこれだった。
いま、好きと嫌いの境目をふら
ふらと渡り歩いている。

仕事柄、役所にはよく足を運ぶ。
自治体の規模に不似合いな大き
な庁舎が多くないか。いまどき
知事へのアポなし取材を認めな
い県にも面食らう。一方で、恐
縮するほど熱心に対応してくれ
る職員がいる。

続けよう。いま話題の沖縄大
学院大学構想。設立趣旨や意義
に異論はなく、地域に与えるイ
ンパクトは大きいに違いない。
でも、始まりが東京にいる前大
臣の提唱とあっては残念な人も
少なくないのではないか。

「これが沖縄からの独自の発
案であつたならば」。自転車で
クオフできた方がずっと面白い
に決まっている。

そのためには権限移譲が不可
欠だ。沖縄総合事務局が果たし

食堂でほのかに響く島唄もいい。
でも大音量の店では観光客もう
んざりしていることだろう。
いつもは陽気でフレンドリー
な米青年が、基地内では冷淡な
兵士の顔に一変していたのに驚
いた。嘉手納や普天間の爆音は
想像していた以上にすさまじい。
こんなにも良い印象、悪いイ
メージが、すぐ隣り合わせで混
在している土地も珍しい。

こんな風に酒場でやいのやい
のと言つていると、ウチナーの
友から「バ・カ・タ・レ」と一
喝された。

「たとえそうであつても、沖
縄のことを本土の人が簡単に言
つてはいけないよ。島は多いし、
すべてを見たわけでもないのに
判断しようとするのはヤマトの
悪い癖」。

泡盛ですっかり盛り上がった
場で無粋な仕事の話をするなど
と大事なことも見逃すぞという、
沖縄の人ならではの温かな忠告
であつたに違いない。

あと一、二年は、この街で暮
らすことになるだろう。好きも
嫌いもチャンブルーにしたまま
に沖縄と向き合おう。